

目次

- 1 はじめのうた
- 2 季節のカード (味覚編)
- 3 あそびうた おもいかるい
- 4 今月の詩 こんこん小山の 北原白秋
- 5 たし算 順番足し算
- 6 ことわざ 身から出たさび 縁は異なるもの
帯に短したすきに長し おぼれる者はわらをもつかむ
- 7 うた わけっこのうた
- 8 俳句 小林一茶 与謝蕪村 野田別天楼
- 9 かぞえうた 1丁 1本 1張 (豆腐、鉛筆、テント)
- 10 なぞなぞ
- 11 手あそびうた あかちゃん
- 12 音の絵本 秋田犬 ポメラニアン シェパード ブルドッグ
ダックスフンド
- 13 イメージストーリー リード君 (第11話 恐竜の洋服)
(イメージしてみましよう)
- 14 今月のうた きがえのうた
- 15 おはなし うさぎとかめ
- 16 童謡 鳩
- 17 漢詩 京師にて家書を得たり
- 18 百人一首 大納言経信 赤染衛門 山部赤人 河原左大臣
- 19 復習コーナー
- 20 暗示 (静かなところで目を閉じて聞きましょう)

《おもいかるい》

おもい かるい くらべっこ

ぞうとねずみは どっちが^{おも}重い

おもい かるい くらべっこ

ひよことにわとり どっちが^{かる}軽い

さんりんしゃ きゆうきゆうしゃ どっちが^{おも}重い

おもい かるい くらべっこ



こ やま
こんこん小山の

きたはらはくしゅう
北原白秋

こんこん小山のお月さま、
ついたち二日はまだ小さい。
仔馬の耳より
まだ小さい。

こんこん仔馬も馬柵の中、
一飛び、二飛び、まだ小さい。
となりの兎より
まだ小さい。

こんこん小藪の青葡萄、
一つぶ、二つぶ、まだ小さい。
仔馬の眼々より
まだ小さい。



ことわざ

身から出たさび

自分のした悪い行いや過ちが原因で、あとで自分が苦しむこと。



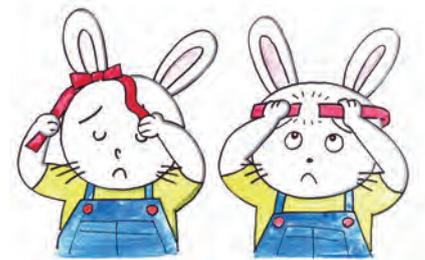
縁は異なるもの

人の縁は不思議なもので、いろいろな出会いがある。



帯に短したすきに長し

中途半端で役に立たないこと。



おぼれる者はわらをもつかむ

危機におちいると、まったく頼りにならないようなものにも、頼ろうとすること。



俳句

ねこ^この子の　くるくる舞^まいや　ち^こる木の葉^は
小林^{こばやし}一^{いっ}茶^さ



と^{いぬ}に犬の　寝^ねがえる音^{おと}や　ふ^ゆごもり

与^よ謝^さ蕪^ぶ村^{そん}



は^るち^か春^{はる}近^{ちか}し　さ^むむき^{さむ}が中^{なか}に　ひ^ひの^ひ匂^{にお}う

野^の田^だ別^べ天^{てん}楼^{ろう}



なぜなぜ

- 1 天気てんきがよいとお留守番るすばん、雨あめの日ひにはおでかけするものななに？
- 2 4本足ほんあしで、人ひとがすわるもの。でも、動うごかないものななに？
- 3 明あかるくしたり、暗くらくするたび窓まどをいったりきたりするものななに？
- 4 ひなたぼっこをするとふんわりとなり、夜よるやさしく寝ねかしてくれるものななに？



《あかちゃん》

① あかちゃん あかちゃん
なぜなくの



りょう^て手のこゆびを
トントンとあわせる

② ねえさん ミルクを
のんじやった



くすりゆびを
あわせる

③ にいさん おもちやを
とっちゃった



なかゆびを
あわせる

④ かあさん おでかけ
もどらない



ひとさしゆびを
あわせる

⑤ そこで どうさん



おやゆびをだす

⑥ プン



⑦ プン



⑧ プン



みぎ、ひだり、みぎとゆらす

音の絵本

今^{こんげつ}月は、いろいろな鳴^なき声^{ごえ}です。

- 1) 秋^{あき}田^{たいぬ}犬
- 2) ポメラニアン
- 3) シェパード
- 4) ブルドッグ
- 5) ダックスフンド



あき たいぬ
秋田犬



ポメラニアン



ダックスフンド



ブルドッグ



シェパード

《きがえのうた》

ひとりで ようふく きれるかな
セーター じょうずに きれるかな
^{なが}長いトンネル ^{うで}腕をいれ ^{おお}大きい^{あな}穴から ^{あたま}頭ができれば
できたよおきがえ じょうずにできた

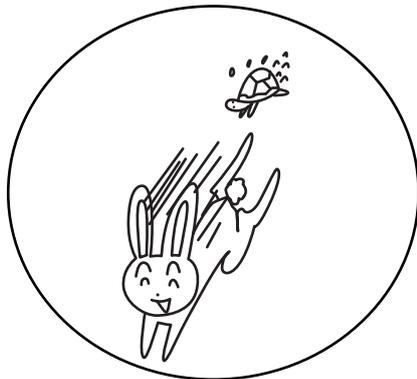
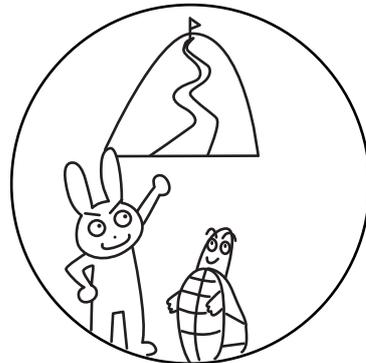
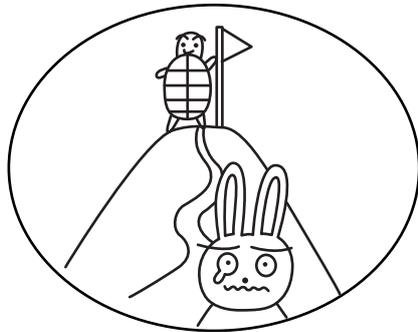
ひとりで ようふく きれるかな
パンツも じょうずに はけるかな
^{おお}大きいトンネル ^{あし}足をいれ ^{ふた}二つの^{あな}穴から ^{あし}足をだせば
できたよおきがえ じょうずにできた



うさぎとかめ

「うさぎとかめ」は、足のはやいうさぎと足のおそいかめがかけっこをして、休まずに一步一步進んだかめが勝ったお話です。お話を聞いた後で、質問にこたえてみましょう。

- 1 足のおそいかめは、かけっこについてどう考えていますか？
- 2 足のはやいうさぎは、かめとのかけっこの勝負のどちらで何をしましたか？
- 3 先にゴールについたかめは、うさぎの姿が見えないのでどう考えましたか？
- 4 あなたは、うさぎとかめをどう思いましたか。



京師けいしにて家書かしょを得えたり

袁えん

凱がい

江こう水すい 三さん千せん里り
家書かしょ 十五じゅうご行ぎょう
行ぎょう行ぎょう 別語べつご無なし
只ただ道い 早はやく 郷きょうに還かえれと

百人一首

夕^{ゆう}されば
門^{かど}田^たの稲^{いな}葉^ばおとづ
蘆^{あし}のまろ屋^やに秋^{あき}風^{かぜ}ぞ吹^ふく

(大^{だい}納^な言^{ごん}経^{つね}信^{のぶ})

やすらはで
寝^ねなましもの
傾^{かたぶ}くまでの
月^{つき}を見^みしかな
さ夜^よ更^ふけて

(赤^{あか}染^{ぞめ}衛^え門^{もん})

田^た子^ごの浦^{うら}に
うち出^いでて見^みれば
富^ふ士^じの高^{たか}嶺^ねに
雪^{ゆき}は降^ふりつつ
白^{しろ}妙^{たえ}の

(山^{やま}部^べ赤^{あか}人^{ひと})

陸^{みち}奥^{のく}の
しのもぢずり
乱^{みだ}れそめにし
誰^{たれ}ゆゑに
我^{われ}ならなくに

(河^{かわ}原^{らの}左^さ大^{だい}臣^{じん})



大納言経信